

市民意見検討後 委員意見

■肯定意見

- ・修正後の宣言文(案)で良いと思います。
- ・何回も手直し、市民の意見も伺い、ようやく出来上がった文であり、すっきりとまとまりました。
- ・何度も読み返していますが、22名の知恵を結集した作品として、これで良いかなと思います。
- ・高山らしい平和宣言文が出来上がったと思います。異議はありません。

■修正意見

番号	文中番号	内容	意見反映文	メモ
1	⑤	国内外から多くの人々が訪れるから、国際観光都市ではないため、『⑤国内外から多くの人々が訪れる「国際観光都市」として』としたが、「③豊かな自然」と「⑬豊かな自然」、「④伝統文化」と「⑩誇れる伝統文化」、「⑤と⑰人と人との絆」というバランスからも、「 国内外の人々が交流する 」等、人に関する文言は残すべきではないか。	⑤ 国内外の人々が交流する 「国際観光都市」として、周りとのつながりを大切にしてきました。	
2	⑥	⑥「周りとのつながりを大切にしてきました。」は、過去形でなく現在形で、「 大切にしています。 」でも良いと思います。あとの文体もあるので、特にこだわりませんが。	⑥周りとのつながりを大切に しています 。	
3	⑦	9月21日を平和の日に定めているから宣言するわけではなく、特定日(9月21日)を明示することに違和感もあり、「9月21日」を削除したが、9月21日が国際平和デーであり、高山市平和の日であることを周知するために、 9月21日を残すべきではないか 。	⑦さらに、国際平和デーに あたる9月21日 を「高山市平和の日」と定め、飛騨高山の地から、世界に向けて恒久平和の実現を訴えています。	

番号	文中番号	内容	意見反映文	メモ
4	⑦⑳	接続詞「さらに」がおかしい。この文章を、この場所から移動し、一番最後の文章(㉑)とあわせてはいかがか。	㉑私たち高山市民は、国際平和デーを「高山市平和の日」と定め、飛騨高山の地から世界に向けて永久に平和都市であることを宣言します。	※移動のみ検討。文の中身は、他の㉑に関する意見とあわせて検討。
5	⑧	冒頭「高山市は」としながら、⑧「飛騨高山の地から」とした意味合いを確認したい。	—	
6	⑧	「飛騨高山の地から、世界に向けて恒久平和の実現を訴えています提唱しています。」 国際平和デーを高山市平和の日に定めたことは、国際平和、世界の平和への実現を目指し、国連をはじめ世界にその意思表示と共に連携を持ったことを意味していると考え。	⑧飛騨高山の地から、世界に向けて恒久平和の実現を提唱しています。	
7	⑩	「しかし」を削除してはどうか。「しかし」、とすると高山市の取り組みが弱いからという流れになるため。	⑩世界の各地では、紛争・テロ・飢餓が後を絶たず、核兵器の脅威にさらされている現実があります。	
8	⑩	世界の情勢はきわめて不安定な状況にあり、人々の安全と安心と人権が脅かされている状況にあるため、⑩の文章に、「 貧困、自然災害、感染症、核の脅威、世界の人々の安心と安全な暮らしが脅かされている 」を追記。	⑩しかし、世界の各地では、紛争、テロ、飢餓、 貧困、自然災害、感染症が後を絶たず、核と核兵器の脅威と共に世界の人々の、安心と安全な暮らしが脅かされています。	
9	⑪	「⑪私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。」の「来ることを願い」は受け身なので、「 日の実現のために 」としてはどうか。	⑪私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる 日の実現のために 行動します。	
10	⑪	「⑪私たちは、世界中の人々が 安全と安心のうちに して平和に暮らせる日が…」に修正してはどうか。 世界の情勢はきわめて不安定な状況にあり、人々の安全と安心と人権が脅かされている状況にある。	⑪私たちは、世界中の人々が 安全と安心のうちに 平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。	
11	⑪	「⑪私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。」に、「 次の様に 」を追記してはどうか。	⑪私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、 次の様に 行動します。	

番号	文中番号	内容	意見反映文	メモ
12	⑫⑬	「⑫私たちは過去から学び、…」で、どんな過去かを明確にするため、「悲惨な過去」としてはどうか。また、人間の意識としては、戦争と核兵器は、まずは「恐ろしい」ものであり、「愚かさ」は人類として深く認識すべきことなので、「戦争と核兵器の恐ろしさ、愚かさ」という流れが自然ではないか。	⑫私たちは悲惨な過去から学び、未来へ伝えていきます。 ⑬戦争と核兵器の恐ろしさ、愚かさ、そして命の尊さを。	
13	⑭	「⑭命の大切さ」よりも「命の尊さ」のほうが適当ではないか。		
14	⑬⑭	⑬核戦争と核兵器、戦争の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして⑭命の大切尊さを。 核兵器だけでなく原発崩壊に基づく、家族の離散、放射能への不安、自然破壊、日常の平和な暮らしを奪われた人々がいることにも目を向けるため	⑬核と核兵器、戦争の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の⑭尊さを	
15	⑯	⑯誇れる気高さの伝統文化 誇れるは、自己主張の響きがあり、より謙虚な文言にした。今まで継承してきた文化は黙々と培われて現在に至っており、日本の各地に貢献してかつ伝承している。その結果として心の技と匠の技の精神性が存在する都市として認証されたのだと理解しています。これは今後も変わらぬ飛騨高山の精神ではないか。それを世界に発信でき伝える観光都市の存在ではないか。	⑯気高さの伝統文化	
16	⑮⑯ ⑰	⑮⑯私たちが守り続けるものとして、「調和」という文言を入れたらどうか。 ⑰	私たちは守り続けます。 豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人との絆、調和を。	

番号	文中番号	内容	意見反映文	メモ
17	⑱	「⑱多様な文化を理解し、尊重し、 <u>交流することを</u> 」としてはどうか。こうすることで「国際観光都市」「国際交流」が表現できるのではないかと。	多様な文化を理解し、尊重し、 <u>交流することを</u> 。	
18	⑱	「⑱多様な <u>価値観</u> 、文化を理解し、尊重することを。」としてはどうか。 一人ひとりの人権の尊重としても表現してはいかがか。個人の価値観の尊重は多様性の時代に大切だとそのことで、そのことによって互いの文化を尊重することに繋がって行くように考える。	⑱多様な <u>価値観</u> 、文化を理解し、尊重することを。	
19	㉔	最終行の平和都市に「」をつけたらどうか。 インパクトを強くするため、力強さを強調するため。今後、市民の皆さんに、この宣言を受け止めてもらい、「平和都市」実現のために、行動化してもらうため。	㉔私たち高山市民は、ここに高山市が永久に「平和都市」であることを宣言します。	
20	㉔	「㉔私たち <u>平安を尊ぶ</u> 高山市民は、……」としてはどうか。⑪の文章以降、「私たち」が連続するため。	㉔ <u>平安を尊ぶ</u> 高山市民は、ここに高山市が永久に平和都市であることを宣言します。	
4 【再掲】	⑦㉔	接続詞「さらに」がおかしい。この文章を、この場所から移動し、一番最後の文章(㉔)とあわせてはいかがか。	㉔私たち高山市民は、国際平和デーを「高山市平和の日」と定め、飛騨高山の地から世界に向けて永久に平和都市であることを宣言します。	
21	㉔	第4回の会議において、「なぜ、誰に対して宣言するのか」という議論の中で、「世界の恒久平和の実現に寄与するために、高山市へ訪れる人、外に向けて自分の決意を宣言する」という議論があったことや、高山市民だけではなく、姉妹友好都市や広島・長崎との関係を踏まえ、市民一人一人が多くの人々とともに平和をつくりあげていくという意味では、「私たち高山市民は、ここに高山市が永久に平和都市である、 <u>平和を願う多くの人々とともに永久に平和な世界を創っていく</u> ことを宣言します。」としてはどうか。	㉔私たち高山市民は、ここに、 <u>平和を願う多くの人々とともに永久に平和な世界を創っていく</u> ことを宣言します。	
22	全体	全体として、最初のころの方が、良い様な気がしてきました。	—	

23 全体 前文と宣言(箇条書)を分けて、体裁を整えた。

高山市平和都市宣言

■前文
※見栄えを考慮し、文章をひし形に配置した。

高山市は、飛騨山脈に代表される豊かな自然に囲まれ、祭りや匠の技などの伝統文化を育み、「国際観光都市」として、周りとのつながりを大切にしてきました。さらに、国際平和デーを「高山市平和の日」と定め、飛騨高山の地から、世界に向けて恒久平和の実現を訴えています。しかし、世界の各地では紛争・テロ・飢餓が後を絶たず核兵器の脅威にさらされている現実があります。

■宣言
※見栄えを考慮し、各文で、2番目の文の大きさを小さくした。

私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。

私たちは過去から学び、未来へ伝えていきます。戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを。

私たちは守り続けます。豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人との絆を。

私たちは大切にします。多様な文化を理解し、尊重することを。

私たち高山市民は、ここに高山市が永久に平和都市であることを宣言します。